



進路だより

令和7年度

第11号

令和8年1月20日発行

渋川青翠高等学校 進路指導部

●● 進路体験記 ●●

今回は専門学校に進学した2名の進路体験記を掲載いたします。今後の進路実現に向けて参考にしてください。

⑬ 進学 高崎動物専門学校 ペットビジネス学科 ペットケアペットショップコース 女子

私は幼い頃から動物が大好きです。犬や猫だけでなくウサギやハムスターなどペットとして飼うことのできる小動物も大好きで、将来はこういった動物と関わりのある仕事をしたいと思っていました。

中学生の頃、進路学習の授業で『ペットに関する仕事』という本を手にとったことがきっかけで、それまでは動物と関わる仕事とはペットショップや獣医師などしか知りませんでした。トリマーやドッグトレーナー、ブリーダー、愛玩看護師など動物関係の仕事にも様々な職があることを知り、この分野に今まで以上に興味を持ち始めました。このことを家族に話すと初めは反対を受けました。獣医師などの動物医療系でなければ平均年収が低い傾向にあることや長く働き続けられるか、そして“『好き』という気持ちだけで務まるほど簡単な仕事ではない”と厳しくアドバイスされ、私自身もう一度改めて考え直すことにしました。

私にはもう一つ興味のある仕事がありました。それは、料理やスイーツをすることです。家でもよく料理やお菓子作りをしていて、特にお菓子作りは私の趣味でもあったためこの道には家族も賛成してくれました。経験を積みばしっかりと技術が身に付くだけでなく、自立もしやすい仕事だと考え、調理師やパティシエといった調理の分野を目指すことに決めました。

この目標を実現できる学校を探したところ、渋川青翠高校に出会い、本校に入学しました。入学して1年が経ち、実際に調理分野の勉強を学んだり、調理関係の専門学校のオープンキャンパスに参加したりする中で理想と現実の違いに気付くことができました。想像以上に勉強が難しく、『楽しい』という気持ちだけでは続けていけない厳しさを実感し、徐々に自信を失っていきました。

改めて将来について考え直した時、私の中にはまだ諦めきれない動物分野への心残りがあり、動物専門学校のオープンキャンパスに参加してみたところ、校内には犬や猫だけでなくウサギやハムスターなど多くの動物がおり、トリマーやドッグトレーナーの体験、座学の内容にも触れることができました。調理分野と同様に技術習得と勉強は想像以上に大変だと感じましたが、動物に関することなら『どんなに厳しくても頑張りたい』『動物のことについてもっと知りたい』と続けられる自信を持つことができました。家族にもう一度相談した際には、『最後まで本当にやり抜くことができるのか』と改めて覚悟を問われましたが、オープンキャンパスでの体験を通して私の心は決まっていたので、自分の意志で動物分野を目指したいと決意したことを伝えました。

こうして私は豊富なコースがある高崎動物専門学校の入学を決め、犬や猫だけでなくウサギやハムスター、アクアリウムに関することも学べる、ペットケアペットショップコースを選択しました。入学方法はAO入学、指定校推薦、公募推薦、自己推薦、一般入学があり、私は『この学校に入りたい』という思いが強く学力だけでは測れない熱意を学校に伝えたかったためAO入試を選択しました。AO入試ではオープンキャンパスに参加していて、第一志望で受験する人のみ受験することができます。AO入試を受ける手順は、WEBで出願用マイページを作成してエントリーをし、面接日に面接を受け、後日WEB出願をします。可否は作成したマイページで発表されました。AO入試を受験すると、入学前に「AOプレスクール」という簡単な授業を受けることができたり、入学者同士の交流会に参加できたりするのでとてもおすすめです。

後輩の皆さんの中にも、自分の好きなことや挑戦してみたいことについて考え、悩んでいる人も多くいると思います。社会の現実の厳しさを知るためにも、先生やお父さん、お母さんなどの意見に耳を傾けることはとても大切です。ですが、自分の夢に向かい周囲に流されることなく、強い意志を持つことも同じくらい大切だと感じます。これから進路を選択するみなさんもオープンキャンパスに積極的に参加するなど、もう一度自分自身と向

き合い、後悔のない選択をしてほしいです。

2・3年次 履修科目	
2年	文学国語 地理総合 歴史総合 科学と人間生活 体育 保健 英語コミュニケーションⅡ 住生活デザイン フードデザイン 栄養 ビジネス・コミュニケーション 社会体育概論 器楽 探究セミナー
3年	文学国語 世界史探究 生物 体育 保育基礎 服飾文化 フードデザイン ビジネス基礎 マーケティング 器楽 総合研究

⑭ 進学 東日本デザイン&コンピュータ専門学校 デザイン学科 グラフィックデザインコース 女子

私は、幼い頃から絵を描くことが好きだったので、高校入学前は進路について、何となく将来は「絵を描く職業に就けたらいいな」くらいにしか考えていませんでした。高校入学後は、どんな進路を決めてもいいように無遅刻無欠席を目指し、体調管理をしっかりすること、定期試験で90点以上を取り、年次順位で3位以内に入ること、評定平均は常に4.8以上を目標に学校生活を送っていました。

2年生になって、デザイン系列の授業を受け、グラフィックデザイナーの職業に興味を持つようになりました。そのような時に、東日本デザイン&コンピュータ専門学校の卒業進級制作展を訪ね、展示されていた生徒の方々の作品に魅入られ、グラフィックデザインの道に進みたいと決めました。3年生になっても具体的に進学したい学校までは決まらず、周りが進路を次々と決めていく中で焦りを感じつつも、どう調べていいのかも分からずに、ただぼんやりと過ごしていました。夏休みに入り、グラフィックデザインを学べる群馬県内の短期大学、専門学校を調べ、桐生大学短期大学部アート・デザイン学科と東日本デザイン&コンピュータ専門学校の2校に絞り、オープンキャンパスに参加しました。桐生大学は事前の情報がほとんど無かったため、実際に話を聞いたり、体験授業を受けたりすることで資料請求やWEBページには載っていない授業内容やコースについて知ることができ、在学生の話も聞くことができました。一方で、東日本デザイン&コンピュータ専門学校は今まで何度も訪れており、東日本デザイン&コンピュータ専門学校を卒業した姉からも話を聞いていたので行く必要性があるのか悩んでいましたが、オープンキャンパスに参加しないと知ることのできないお金の話や入学金免除の制度などについて実際に話を聞くことで知ることができました。その結果、より自分の学びたいことが学べそうだった東日本デザイン&コンピュータ専門学校への入学を決めました。

受験方法は、オープンキャンパス参加後に自分の志望するコースの先生から話しかけられ、評定平均と今まで授賞した作品から特待生を勧められました。自分が悩んでいた指定校推薦とどちらが良いのかアドバイスをいただき、最終的に、私は指定校推薦で受験をすることを決めました。試験内容は書類審査のみだったので、学校から推薦を貰い、必要な書類を提出して受験を終えました。合格が決まったのは受験から1週間後で、指定校推薦だったこともあり、心配はしていなかったのですが、合格が決まり、一安心することができました。

進路は中々想像が付きにくいものだと思います。そのため、自分の興味のある学校の資料請求をしたり、オープンキャンパスに参加したりして自分の目で確かめることが大事です。分からなくなったり、悩むことがあったりすれば周りの人に相談し、最終的には自分の意志で決断する事が求められます。後悔の残らない選択をするためにも自分が今何をすべきか考えて日々の学校生活を送っていきましょう。

2・3年次 履修科目	
2年	文学国語 国語表現 地理総合 歴史総合 科学と人間生活 体育 保健 英語コミュニケーションⅡ 情報デザイン コンテンツの制作と発信 デザイン基礎 探究セミナー
3年	文学国語 国語表現 政治・経済 数学セミナー 体育 美術Ⅱ デッサン 保育基礎 情報デザイン コンテンツの制作と発信 課題研究 マーケティング ネットワーク活用 総合研究